

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月15日(2009.1.15)

【公開番号】特開2007-191408(P2007-191408A)

【公開日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【年通号数】公開・登録公報2007-029

【出願番号】特願2006-9682(P2006-9682)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/39 (2006.01)

A 6 1 K 8/37 (2006.01)

A 6 1 K 8/06 (2006.01)

A 6 1 Q 19/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/39

A 6 1 K 8/37

A 6 1 K 8/06

A 6 1 Q 19/00

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月19日(2008.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1) ポリエチレングリコール(100～200)ジ脂肪酸エステルと、2) テトラオクタン酸ペンタエリスリットとを含有することを特徴とする、乳化剤形のマッサージ用化粧料。

【請求項 2】

前記ポリエチレングリコール(100～200)ジ脂肪酸エステルの含有量が、0.01～0.5質量%であることを特徴とする、請求項1に記載のマッサージ用化粧料。

【請求項 3】

前記テトラオクタン酸ペンタエリスリットの含有量が、1～20質量%であることを特徴とする、請求項1又は2に記載のマッサージ用化粧料。

【請求項 4】

更に、ジグリセリンテトラオレート含有することを特徴とする、請求項1～3何れか1項に記載のマッサージ用化粧料。

【請求項 5】

エステティック施術におけるマッサージ用であることを特徴とする、請求項1～4何れか1項に記載のマッサージ用化粧料。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、マッサージ用化粧料に関し、更に詳細には、エステティック施術に好適な乳

化剤形のマッサージ用化粧料に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

一方、テトラオクタン酸ペンタエリスリットは化粧料用の非イオン界面活性剤として知られている（例えば、特許文献1を参照）が、マッサージ料への応用は全く知られていない。ポリエチレングリコール（150）ジステアレートのようなポリエチレングリコール（100～200）ジ脂肪酸エステルも化粧料用の原料として知られている（例えば、特許文献2を参照）が、マッサージ料への応用は全く知られていない。従って、かかる2者を組み合わせてマッサージ用の化粧料に含有させることも、このような構成を取ることにより、反転がなだらかになり、心地よさを持続させるのに好適なマッサージ料とすることができるとも全く知られていなかった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、このような状況下為されたものであり、乳化剤形のマッサージ用化粧料において、擦過時における心地よさの持続時間を向上させる技術を提供することを課題とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

このような状況に鑑みて、本発明者らは、乳化剤形のマッサージ用化粧料において、擦過時における心地よさの持続時間を向上させる技術を求めて、鋭意研究努力を重ねた結果、ポリエチレングリコール（100～200）ジ脂肪酸エステルとテトラオクタン酸ペンタエリスリットとを含有することを特徴とする、乳化剤形のマッサージ用化粧料がこの様な特性を有していることを見だし、発明を完成させるに至った。即ち、本発明は、以下に示すとおりである。

（1） 1）ポリエチレングリコール（100～200）ジ脂肪酸エステルと、2）テトラオクタン酸ペンタエリスリットとを含有することを特徴とする、乳化剤形のマッサージ用化粧料。

（2） 前記ポリエチレングリコール（100～200）ジ脂肪酸エステルの含有量が、0.01～0.5質量％であることを特徴とする、（1）に記載のマッサージ用化粧料。

（3） 前記テトラオクタン酸ペンタエリスリットの含有量が、1～20質量％であることを特徴とする、（1）又は（2）に記載のマッサージ用化粧料。

（4） 更に、ジグリセリンテトラオレートとを含有することを特徴とする、（1）～（3）何れかに記載のマッサージ用化粧料。

（5） エステティック施術におけるマッサージ用であることを特徴とする、（1）～（4）何れかに記載のマッサージ用化粧料。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、乳化剤形のマッサージ用化粧料において、擦過時における心地よさの持続時間を向上させる技術を提供することができる。

以下、本発明の「マッサージ用化粧料」を単に「化粧料」と称す。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

(2) 本発明の化粧料の必須成分であるテトラオクタン酸ペンタエリスリット

本発明の化粧料は、テトラオクタン酸ペンタエリスリットを必須成分として含有する。かかる成分はペンタエリスリトールをアルカリの存在下オクタン酸クロリド(2-エチルヘキサロイルクロリド)と反応させ、これを精製することによって得ることができるが、既に、化粧料原料として使用されており、化粧料原料としての市販品も存するので、かかる市販品を購入して利用することもできる。このような市販品としては、例えば、コグニスジャパン株式会社製の「セチオールPEEH-4」が好ましく例示できる。かかる成分は、化粧料においては、擦過塗布の初期の摩擦係数を非常に低くさせて、のびを軽やかにする作用を有すると同時に、前記ポリエチレングリコールジ脂肪酸エステルとともに働いて、擦過時の反転をなだらかにさせ、反転に伴って摩擦係数が急激に上昇するのを抑制するとともに、適度な心地よい刺激を皮膚に感じさせる効果を奏する。このような効果を発揮するためには、テトラオクタン酸ペンタエリスリットは化粧料全量に対して、1~20質量%含有させることが好ましく、より好ましくは、5~15質量%含有させることである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

(3) 本発明の化粧料

本発明の化粧料は、前記必須成分を含有し、乳化剤形であることを特徴とする。乳化剤形としては、水中油乳化剤形であることが好ましい。また本発明の化粧料は、エステティックのマッサージ施術用として特に好ましい。これは、反転がなだらかであり、摩擦係数の変化が少なく、以てマッサージ施術によってもたらされる心地よさが大きくなるためである。又、副次的効果として、かかる組み合わせの含有により、水性担体で容易に除去できる性質を有し、濡れタオルでの拭き取り程度の化粧動作でマッサージ後の化粧料を除去できる性質も存する。このような形態の拭き取りで化粧料が除去できることは、化粧料の除去動作で、それ以前に構築した施術の心地よさを中断することなく維持できるため、エステティックのコース全体で獲得できる心地よさの総量が増大するメリットが存する。このような効果を更に高めるためには、ポリオキシエチレン脂肪酸グリセリルを0.5~2質量%含有させることが好ましい。このようなポリオキシエチレン脂肪酸グリセリルとしては、POE(7)ヤシ油脂肪酸グリセリル(例えば、コグニスジャパン株式会社製「セチオールHE」)、POE(7)(カプリル酸・カプリン酸)グリセリル(例えば、コグニスジャパン株式会社製「セチオール810HE」)、POE(20)イソステアリン酸モノグリセリド(例えば、日本エマルション株式会社製「エマレックスGWS-120」)、POE(20)イソステアリン酸トリグリセリド(例えば、日本エマルション株式会社製「エマレックスGWS-320」)等が好適に例示できる。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 1 3 】

本発明の化粧料においては、この様な成分以外に、通常化粧料で使用される任意成分を含有することができる。この様な任意成分としては、例えば、マカデミアナッツ油、アボガド油、トウモロコシ油、オリーブ油、ナタネ油、ゴマ油、ヒマシ油、サフラワー油、綿実油、ホホバ油、ヤシ油、パーム油、液状ラノリン、硬化ヤシ油、硬化油、モクロウ、硬化ヒマシ油、ミツロウ、キャンデリラロウ、カルナウパロウ、イボタロウ、ラノリン、還元ラノリン、硬質ラノリン、ホホバロウ等のオイル、ワックス類；流動パラフィン、スクワラン、プリスタン、オゾケライト、パラフィン、セレシン、ワセリン、マイクロクリスタリンワックス等の炭化水素類；オレイン酸、イソステアリン酸、ラウリン酸、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸、ベヘン酸、ウンデシレン酸等の高級脂肪酸類；セチルアルコール、ステアリルアルコール、イソステアリルアルコール、ベヘニルアルコール、オクチルドデカノール、ミリスチルアルコール、セトステアリルアルコール等の高級アルコール等；イソオクタン酸セチル、ミリスチン酸イソプロピル、イソステアリン酸ヘキシルデシル、アジピン酸ジイソプロピル、セバチン酸ジ - 2 - エチルヘキシル、乳酸セチル、リンゴ酸ジイソステアリル、ジ - 2 - エチルヘキサン酸エチレングリコール、ジカプリン酸ネオペンチルグリコール、ジ - 2 - ヘプチルウンデカン酸グリセリン、トリ - 2 - エチルヘキサン酸グリセリン、トリ - 2 - エチルヘキサン酸トリメチロールプロパン、トリイソステアリン酸トリメチロールプロパン、テトラ - 2 - エチルヘキサン酸ペンタンエリトリット等の合成エステル油類；ジメチルポリシロキサン、メチルフェニルポリシロキサン、ジフェニルポリシロキサン等の鎖状ポリシロキサン；オクタメチルシクロテトラシロキサン、デカメチルシクロペンタシロキサン、ドデカメチルシクロヘキサンシロキサン等の環状ポリシロキサン；アミノ変性ポリシロキサン、ポリエーテル変性ポリシロキサン、アルキル変性ポリシロキサン、フッ素変性ポリシロキサン等の変性ポリシロキサン等のシリコーン油等の油剤類；脂肪酸セッケン（ラウリン酸ナトリウム、パルミチン酸ナトリウム等）、ラウリル硫酸カリウム、アルキル硫酸トリエタノールアミンエーテル等のアニオン界面活性剤類；塩化ステアリルトリメチルアンモニウム、塩化ベンザルコニウム、ラウリルアミンオキサイド等のカチオン界面活性剤類；イミダゾリン系両性界面活性剤（2 - ココイル - 2 - イミダゾリニウムヒドロキサイド - 1 - カルボキシエチロキシ2ナトリウム塩等）、ベタイン系界面活性剤（アルキルベタイン、アミドベタイン、スルホベタイン等）、アシルメチルタウリン等の両性界面活性剤類；ソルビタン脂肪酸エステル類（ソルビタンモノステアレート、セスキオレイン酸ソルビタン等）、グリセリン脂肪酸類（モノステアリン酸グリセリン等）、プロピレングリコール脂肪酸エステル類（モノステアリン酸プロピレングリコール等）、硬化ヒマシ油誘導体、グリセリンアルキルエーテル、P O E ソルビタン脂肪酸エステル類（P O E ソルビタンモノオレエート、モノステアリン酸ポリオキエチレンソルビタン等）、P O E ソルビット脂肪酸エステル類（P O E - ソルビットモノラウレート等）、P O E グリセリン脂肪酸エステル類（P O E - グリセリンモノイソステアレート等）、P O E 脂肪酸エステル類（ポリエチレングリコールモノオレート等）、P O E アルキルエーテル類（P O E 2 - オクチルドデシルエーテル等）、P O E アルキルフェニルエーテル類（P O E ノニルフェニルエーテル等）、プルロニック型類、P O E ・ P O P アルキルエーテル類（P O E ・ P O P 2 - デシルテトラデシルエーテル等）、テトロニック類、P O E ヒマシ油・硬化ヒマシ油誘導体（P O E ヒマシ油、P O E 硬化ヒマシ油等）、ショ糖脂肪酸エステル、アルキルグルコシド等の非イオン界面活性剤類；ポリエチレングリコール、グリセリン、1, 3 - ブチレングリコール、エリスリトール、ソルビトール、キシリトール、マルチトール、プロピレングリコール、ジプロピレングリコール、ジグリセリン、イソプレングリコール、1, 2 - ペンタンジオール、2, 4 - ヘキサンジオール、1, 2 - ヘキサンジオール、1, 2 - オクタンジオール等の多価アルコール類；ピロリドンカルボン酸ナトリウム、乳酸、乳酸ナトリウム等の保湿成分類；表面

を処理されていても良い、マイカ、タルク、カオリン、合成雲母、炭酸カルシウム、炭酸マグネシウム、無水ケイ酸（シリカ）、酸化アルミニウム、硫酸バリウム等の粉体類、；表面を処理されていても良い、ベンガラ、黄酸化鉄、黒酸化鉄、酸化コバルト、群青、紺青、酸化チタン、酸化亜鉛の無機顔料類；表面を処理されていても良い、雲母チタン、魚鱗箔、オキシ塩化ビスマス等のパール剤類；レーキ化されていても良い赤色 202 号、赤色 228 号、赤色 226 号、黄色 4 号、青色 404 号、黄色 5 号、赤色 505 号、赤色 230 号、赤色 223 号、橙色 201 号、赤色 213 号、黄色 204 号、黄色 203 号、青色 1 号、緑色 201 号、紫色 201 号、赤色 204 号等の有機色素類；ポリエチレン末、ポリメタクリル酸メチル、ナイロン粉末、オルガノポリシロキサンエラストマー等の有機粉体類；パラアミノ安息香酸系紫外線吸収剤；アントラニル酸系紫外線吸収剤；サリチル酸系紫外線吸収剤；桂皮酸系紫外線吸収剤；ベンゾフェノン系紫外線吸収剤；糖系紫外線吸収剤；2 - (2 ' - ヒドロキシ - 5 ' - t - オクチルフェニル)ベンゾトリアゾール、4 - メトキシ - 4 ' - t - ブチルジベンゾイルメタン等の紫外線吸収剤類；エタノール、イソプロパノール等の低級アルコール類；ビタミン A 又はその誘導体、ビタミン B6 塩酸塩、ビタミン B6 トリパルミテート、ビタミン B6 ジオクタノエート、ビタミン B2 又はその誘導体、ビタミン B12、ビタミン B15 又はその誘導体等のビタミン B 類； α -トコフェロール、 β -トコフェロール、 γ -トコフェロール、ビタミン E アセテート等のビタミン E 類、ビタミン D 類、ビタミン H、パントテン酸、パンテチン、ピロロキノリンキノン等のビタミン類等；フェノキシエタノール等の抗菌剤などが好ましく例示できる。